

2019年10月2日

Be a Bridge!

第7回渡航活動報告書



写真：スワヤンブナート

渡航目的

私たち Be a Bridge! は ” 子どもも大人も笑顔と希望が溢れるネパール “ をモットーとし活動している学生有志団体である。減災教育や環境問題などといった問題を多角的な視点から見つめ、自分たちにできることを探し活動を行っている。2015年4月にアジア最貧国・ネパールにて大震災が発生。これを踏まえて、復興経過とニーズ調査を目的に、2016年2月に初めての渡航、及び現地調査を実施。多くの議論を重ね学生として寄与できることを模索し、「減災教育」をテーマに活動を始めた。また、昨年度からは、現地の先生と共通の問題意識を持った「衛生啓発」に焦点を変え、ネパールのカトマンズ近くにある小中一貫校を拠点に新たな活動を始めている。

今回の第7回渡航は、初めてネパールを訪れるメンバーが過半数を占めていたため、ネパールについて知ることを目的とした観光や、前回渡航で学校内に設置したゴミ箱に対しての先生や生徒の意見を交えた経過観察を行った。また次回渡航に行く活動の下準備として学校の先生方と意見交換の場を設け、後期の活動に繋げるための有

意義な時間を過ごした。そして、同時に麗澤大学の学生として、日本とネパールの架け橋になるよう、石鹸作りのワークショップや日本文化授業を行ない、生徒と交流をした上でメンバーそれぞれが感じた事は様々である。活動の詳細は後程述べる。

渡航メンバー

宇野 舞花	外国語学部国際交流・国際協力専攻 3年
楊 邵予	外国語学部国際交流・国際協力専攻 3年
田口 麻木	外国語学部国際交流・国際協力専攻 3年
大出 祐平	外国語学部国際交流・国際協力専攻 2年
藤内 麻菜華	外国語学部国際交流・国際協力専攻 2年
鈴木 佐和子	外国語学部国際交流・国際協力専攻 1年
寺井 友佳子	外国語学部国際交流・国際協力専攻 1年
長井 拓実	外国語学部国際交流・国際協力専攻 1年
永桶 百音	外国語学部国際交流・国際協力専攻 1年
米田 彩絵	外国語学部国際交流・国際協力専攻 1年

渡航日程表

日にち	活動内容
8月27日	羽田空港発 バンコク経由
28日	カトマンズ着
29日	学校訪問 1日目
30日	世界遺産訪問 (スワヤンブナート・クマリの館)
31日	授業のリハーサル
1日	世界遺産訪問 (バクタプル)
2日	世界遺産訪問 (パタン・セントラル動物園)
3日	世界遺産訪問 (パシュパティナート・ボダナート)
4日	学校訪問 2日目 イスワルさん宅訪問
5日	学校訪問 3日目
6日	カトマンズ出発 バンコク経由
7日	成田空港着

学校での活動

学校では異文化交流授業と先生方と学校の状況、ごみ処理等についての話し合いを行った。それらの内容を項目ごとに分けて述べようと思う。

1 異文化交流授業

異文化交流授業は8/29(二日目)に学校の先生を交えた打ち合わせを行い、9/4(八日目)、9/5(九日目)に実際に行った。異文化交流授業をするにあたり、三つのグループを作り宇野、鈴木、米田のAグループ、楊、寺井、長桶のBグループ、大出、藤内、長井のCグループに分かれ、Aグループは石鹼作り、Bグループは書道の体験、Cグループは凧揚げ作りを行う形でそれぞれ二日間にわたり三つのクラスに対して授業を行った。

各グループの授業内容と流れは次の通りである。

- ・Aグループ(石鹼作り) …アイスブレイク(早口言葉)→手洗いの大切さの説明→石鹼作り→手を洗いに行く
- ・Bグループ(書道体験) …書道の紹介→書いてもらう漢字のお題の紹介→書道体験
- ・Cグループ(凧揚げ作り) …凧の紹介→凧の歴史についての説明→凧作り→外へ飛ばしに行く

授業の日程とクラスは以下の通りである。

9月4日

クラス	10:30~11:30	11:30~14:00	14:00~15:00
6	A(石鹼作り)	昼食、準備	C(凧揚げ作り)
7	B(書道体験)	昼食、準備	A(石鹼作り)
8	C(凧揚げ作り)	昼食、準備	B(書道体験)

9月5日

クラス	10:30~11:30	11:30~13:00	13:00~
6	B(書道体験)	昼食	
7	C(凧揚げ作り)	昼食	
8	A(石鹼作り)	昼食	Lecture time※

※Lecture timeとは、石鹼作りを教わった八組の子たちが数人ずつのグループに分かれ、授業をしていないクラスへ手の洗い方を教えに行く時間のことである。私たちはその間八組の子たちのサポートに回った。

② 先生方との話し合い

前回渡航からの先生や生徒の変化

- 生徒の意識。
- 分別の知識がまだまだ確立されていないが、どのクラスもゴミ箱を使用して

いることが目に見てわかる。

ゴミ処理方法

- 前回渡航の後、市役所に依頼してゴミを回収してもらっている。
- 燃えるゴミと燃えないゴミを一緒に出していて、月々1000ルピー。
- ゴミ箱にかかっているプラ袋は時より使い回し、学校側で用意している。
- 各クラスの先生がクラスのゴミ箱をチェックし、主な管理をしている。

先生方の要望

- ペットボトルやダンボール等のリサイクルできるものを学校で集め回収しお金を集めたい。
- ガールズボーイズスカウトの子どもたち(7,8,9,10クラスから各2人ずつ)と市役所、学校で毎月の目標を作って達成状況をレポート化する。その目標とレポートを子どもたちと共有する。
- 私たちが行ってきた衛生啓発活動を確実なものにするため、生徒数人先生数人を日本に連れて行きたい。
- 日本の小学校や中学校がどのように運営されていて、生徒がどのように清掃をしているのか、部活動、給食など実際に目で見学してほしい。
- そして私たちと一緒にシタパイラの学校をモデル校へと導いてほしい。先生の中には、まだまだ教えることだけが仕事だと思っている人が多いからこそ日本の考え方を取り入れて行きたい。

観光

今回7ヵ所の観光地と1つのお祭りに訪れたので、それぞれについて少しではあるが紹介する。

【観光地】

1 スワヤンブナート

ネパール最古の仏教寺院として知られている。カトマンズの渓谷の一部としてユネスコ世界遺産に登録されている。私たちは夕方スワヤンブナートに着き、日が落ちるまで待っていたが、ライトアップされたスワヤンブナートを見ることができた。

2 クマリの館

1575年にジャヤプラカーシャ・マッラ王によって建造されたといわれている。ダルバール広場の一角にあり女神クマリの化身として崇拝される少女が住む館である。実際に見られると思っていたいなかったクマリが窓から顔を出したとき、時間が止まったように感じた。

3 バクタプル

古代ネワール人の都市として知られる。ネパール、カトマンズ盆地の東端にある。私たちは王宮のお風呂として使われていたところに立ち入ることができた。王宮の世界観を拝見し同時に思いを馳せることができた。

4 パタン

都市の正式名はラリトプルである。ネパールの古都である。カトマンズ盆地の南西部にある。豊かな文化遺産に恵まれる。町の中には多くの寺院や歴史ある建物が見られネパールの古都を感じることができた。

5 中央動物園

パタン動物園といわれることもある。ネパールで唯一の動物園である。首都カトマンズに近いパタン北部にある。日本では見られない動物が多くいた。この動物園ではプラスチック類が持ち込み禁止になっていた。

6 パシュパティナート

ネパール最大のヒンドゥー教寺院でシヴァ神を祀る。バグマティ川の川岸に位置する。バグマティ川には、火葬場があり、遺灰は川に流される。この川はガンジス川に通ずる支流にあたる。ネパールにきて、最も宗教的な違いを感じた場所であった。

7 ボダナート

ネパール最大のチベット仏教の巨大仏塔（ストゥーパ）であり、高さ36mある。カトマンズ渓谷の一部としてユネスコの世界遺産に登録されている。巨大仏塔はとても迫力があり、神秘的な魅力も感じた。

【お祭り】

TEEJI

ヒンドゥー教の女性の幸せを願うお祭り。当日は「バルタ」という断食を行い、前夜は断食に備えてご馳走を食べる「ダル・カタ」という習慣がある。民族衣装を着た女性が踊る姿がよくみられる。私たちも学校訪問初日のウエルカムパーティーでサリーを着た先生や女子生徒たちと一緒に踊ることができた。